

2014年 4月 20日

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人 サイコロネット

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

無料メールカウンセリングによる心の悩みを抱える人の援助

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

年間3万人もの自殺者が続く中で、自殺を考える人や自殺に至らないまでも深い悩みや問題を抱える人は膨大な数に上ります。カウンセリングによる援助はこれらの人を救う最も効果的な方法だと考えられますが、カウンセリングを受けたくても受けることができずにいる人たちが多く存在しています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

心の悩み相談を電子メールによって受け付け、カウンセラーが無料で回答を行います。必要に応じて、継続してのメールカウンセリング、面接のカウンセリング、病院の紹介など、相談者の状況に応じた援助を行います。また、今後も安定的にその援助が行えるよう、システムを強化し、カウンセラーを養成します。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

無料メールカウンセリングは、飽和状態が続いており、回答に要する日にちを表示して、受け付け数を制限しました。回答が2週間を超えると相談件数が減りますので、回答が早くできるようになり、バランスを取りました。その結果、25年度は、319件(お礼状、質問等も含めると352件)の相談を受け付け、回答しました。

カウンセリング学習会は年間を通し 10 回行い、回答担当者のカウンセリング・マインド向上に努めました。学習会には延 57 名の参加がありました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

面接の依頼は減っており、メールカウンセリングの相談件数は増える傾向にあります。面接から電話、電話からメールへと相談が変わっていく傾向が伺われます。メールの相談は増える傾向にあるのに対して、メール相談の回答希望者は減る傾向にあります。個人でも簡単にホームページを開設し、相談を受けることができるので仕方がないことだと思いますが、それだけに質の低下を危惧します。今後もカウンセリングの質の向上を目指すとともに、まだ確立されていないメールカウンセリングの技法についてもそのノウハウを公開していく必要があると思います。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



2013年 10月13日
カウンセリング学習会
於：日本カウンセリングセンター 学習室